



## 「節分、立春」

園長 柿沼 敦子

1月22日から降り出した雪は、一晩で園庭や屋上ガーデンに積もり、木々もすべり台も砂場も綿帽子を被りました。子どもたちは、きらきら輝く白い景色に大喜び。わくわくしながら屋外に飛び出して遊びました。雪だるま作り、雪合戦、そり遊び、かまくら作りなどなど、寒さを忘れて思う存分、夢中で遊びました。東京に住む子どもたちにとって貴重な一日となりました。忘れられない思い出となることでしょう。

さて2月3日は、節分です。「豆」は「魔滅（まめ）」に通じ、豆まきをして無病息災を祈る日です。各学年で版画や貼り絵で「鬼」を作りました。「おなかの中に鬼がいる」という絵本を見た後、一人ひとりが自分の中にある「追い出したい鬼」をイメージして作りました。自分を「客観的にみる」という機会になりました。さっと考え付く子もいれば、じっくり考え込んでいる子もいました。「泣き虫鬼」「おこりんぼ鬼」「ふざけんぼ鬼」「テレビ見過ぎ鬼」・・・個性様々ですが、案外、自分のことをわかっていることに感心させられました。大人も自分を客観的に見て、自分のよさと、もう少し努力することをじっくり考える日にしたいと思いました。折しも年度末、園評価におきまして保護者の皆様、評議員の皆様からご意見を頂戴し、園経営を振り返ることができました。次年度の園経営に生かして参ります。

2月4日は、立春。厳しい寒さの中でも春を感じる頃となります。春への移ろいを感じながら子どもも大人も4月からの新生活に期待する日々にしていきましょう。

\*雪の積もった朝、早い時間から高輪台小学校の先生、主事さん方（もちろん園の職員も行いました）が登校、登園の通路の雪かきをしてくださいました。地域の皆様のご協力にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



<雪の日>

<鬼:スチレン版画>